

S02-4 病院薬剤師による医薬品の安全性への取り組み

○野村 剛久¹

¹東住吉森本病院薬

近年の医療環境では、「薬物治療の複雑化」や「長寿化による高齢者の薬物治療」で医薬品の安全性が脅かされている。その中で、薬剤師への期待は大きく、医薬品の安全性向上のために一層の精進が求められている。

東住吉森本病院では、医薬品の適正使用と安全管理を遂行するために、薬剤師の病棟常駐化を進め、2病棟に3名の薬剤師を配置してきた。3交代勤務体制により常に専任の薬剤師を病棟に配置し、入院患者の適正な薬物治療を実施してきた。我々は病棟業務を進めるにあたり、医薬品の安全性確保を重要な視点として捉えている。当施設では高齢者患者の割合が高く、薬剤師が薬物治療に積極的に介入し、高齢患者に安全で質の高い薬物治療を提供している。また、薬剤師の薬物治療への積極的介入は、他の医療従事者が安心してより良い医療を提供する助けになっている。

本シンポジウムでは、当院の医薬品の安全性への取り組みについての現状と課題を紹介する。